（第29回中央委員会議案　2015年2月15日）

# 7．政治の民主的転換をめざす取り組み

## 1）四つの転換で主権を私たちの手に

自民党の偽りの議席により、政治の右傾化が本格化した。憲法を改悪し、戦争のできる国づくりを許さない闘いの強化が求められている。

また、15 春闘は統一地方選挙の年でもある。

四万十市長選挙や香美市長選挙では、県労連として一歩踏み込んだ闘いを展開した。今後も、地域を守り、政治の民主的発展をはかる観点から、関係組織とも調整して積極的に進める。

①一致する要求での共同を広範に追求しつつ、憲法を守り、労働者の生活と権利擁護、社会保障の拡充をめざす政治の実現、構造改革路線からの転換をめざす政治闘争の強化をはかる。

②賃下げからの転換、雇用破壊からの転換、社会保障改悪からの転換、戦争する国づくりからの転換の「四つの転換」を掲げ、新保守主義、構造改革、緊縮財政路線からの転換、雇用・社会保障の充実によるデフレ経済からの脱却をめざす。

## 2）職場と地域で労働組合ができること政党支持自由を掲げると同時に、政党選択の基準、政党の政策・実績を明らかにし、組合員の政治的関心を高める。

①全労連・県労連の資料などを活用し、職場・地域組織で「情勢学習会」の開催し、現在の政治の本質を見極める力を付ける。

②政治が産別、地域の要求にどう応えたのかを検証する。

③消費税・TPP・原発・社会保障改悪・オスプレイ等の主要な課題で政党の対応を検証する。

④衆議院・参議院選挙の重要性と一票の重みを共有し、それぞれの行動を進める。

⑤地方選挙に対し、「地域を守る」という視点から、可能性のある地域では積極的な取り組みを進める。

⑥国民大運動の要求を基に、安定・良質な雇用と社会保障拡充の要求運動の日常的な強化を図る。

⑦他団体と共同し、職場運動と地域運動を強
化し、地域・自治体から政治を変える取り組みを進める。

### 3)地方・首長選挙での勝利を目指す

2015 年4 月には統一地方選挙が行われ、11月には高知市長選挙と高知県知事選挙も実施される。政党支持自由の立場を貫きながら、政党選択の基準等を組合員に知らせていくとともに、市長・県知事選挙については、さまざまな団体と連携しながら、候補の擁立に向けた調整を進めて行く。

以 上